

# 意見交換会概要

日時	平成25年 6月 12日 (水) 19 : 30 ~ 21 : 10
場所	勝部地区公民館 (勝部地区座談会)
参加者数	約20人
出席者	校区審議室 (小谷、清水)、小林支所長、土橋副支所長、房安青谷町自治連合会会長ほか

発言者	主な意見、質問等
参加者 A	中学校の統合ということになると、過疎がますます進むと思う。子どものことだけではなく、今住んでいる住民のことも大切であると思う。単独校で残るには問題があると思うので、小中一貫校ということがいいのではないかなと思う。もう一点は、将来、青谷高校の問題も出てくると思う。中学校を統合することになると、青谷高をどうするのかという問題も出てくると思うし、将来ビジョンがどうなっているのだろうか。ましてや交通の便が非常に不便になる。経費の合理化という面では、1案の統合ということがよろしいかなと思うが、今住んでいる人たちのことも重要ではないかなと思う。その点を十分に汲んでいただきたい。
参加者 A	耐震補強ということが中心になっているが、津波の危険性はどうなのか。津波の危険性があるのであれば、勝部の方にもってきてということをお願いしたい。東北の方では、津波の関係で、高台に学校を移すということも出ていると思う。鳥取が想定外の地区に該当するかどうか分かりませんが、その辺りはどうか。
参加者 B	中学校3校を統合という案で、それに伴って気高の4小学校を統合してはどうか、という案が出ているが、気高の方では、小学校の統合について、どういう意見が出て、どういうふうな方向に流れているのか。
参加者 C	統合した場合のメリットとして、部活動の編成に有利等が上がっているが、統合すると勝部の奥、或いは日置の一番奥、鹿野で言えば河内から、そこから通う子どもの通学時間を考えると、逆に部活が出来なくなるのではないかなという思いがある。保護者にとってみれば、バスやJRの時間が無くなり、迎えということになってきて大変なことになると思う。こういうこともこの統合案には含んでももらわないといけないし、子どもの精神的、時間的な問題も考えてもらわないといけないと思う。このメリットの中に書いてあることも、本当は、メリットではないのではないかなという気もする。
参加者 C	青谷町内小学校が統合して、今の青谷小学校体育館は、学校開放の観点から使用料は無料である。ところが、統合で廃校となった学校の体育館は、同じ青谷町民なのに負担を強いられる。統合したために不平等が生じている。そういう問題を、まず解消すべきではないかなと思う。統合することによって一番中心になった地域は地区民に対するメリットはあるけれども、廃校になった所は、逆にそういう負担が増えてくる。同じ町民であれば、廃校になって空いた体育館なんだから、同じ条件で無料開放をしてもいいようなことにしてもらいたい。
参加者 C	日置谷の小学校が青谷町で一番新しい建物だと思う。例えば、今の青谷中学校が壊さないといけないくらいの状態になっているのであれば、そこを使うということは考えていないのか。敷地等を中学校サイズにしないといけないということはあると思うが、耐震補強や改築をするより金額的に相当いい面もあると思う。

## 意見交換会概要

発言者	主な意見、質問等
参加者 B	中学生の子供がいて、保育園、それから小学校の統廃合に関わった。地域とかいうことを抜きにして、その時どう考えたかという、最終的には親として子供の将来のことを考えた。意見としては、統合は反対という事が多かったが、やっぱり子供のためには、学年に1人や2人しかいなかったら成長できないのではないかと、大人数の中で切磋琢磨することで成長するのではないかと、統合には賛成だった。今回の件についても、統合すれば青谷から中学校が無くなってしまいうけれども、子供のためにはどうなのかなと思う。言い方は悪いが大人のエゴで、子供達の将来の可能性をつぶすようなことはいけないと思うし、そういう部分を考えていかないといけないと思う。
参加者 D	通学時間の事が出ていたが、どういうパターンになっても、遠いところから通学すると金銭的にも負担が出てくるので、負担にならないようお願いしたい。